



ソーリオ (スイス)

素材研究 (海外)



車窓から眺める景色も素晴らしいベルニナ急行
©swiss-image.ch



サンモリッツからソーリオまではポストバスも
利用できます ©swiss-image.ch



エンガディン地方観光の拠点サンモリッツ
©Engadin St.Moritz



石畳が独特の風情を醸し出す
ソーリオ



サンモリッツ近郊にあるルンピン湖の水面に
映える山並み ©Engadin St.Moritz

ブレガリア山群の威容を臨む
ソーリオの絶景
©Switzerland Tourism

芸術家らが愛した「スイス最奥の村」 夏のピークを外した需要喚起の素材に

「ヨーロッパの美しい村30選」に名前を連
ねるスイスのソーリオは、美しい丘陵地帯と
スレート瓦の家並みの背景に、針峰のブレガ
リア山群が聳える絶景の村です。日本から
の旅行者はまだ少なく、伸び悩む日本から
欧州への旅行需要を喚起する新たな素材
として注目されています。

美しい山々に囲まれた「隠れ里」

「スイス最奥の村」とよばれるソーリオは、
スイスとイタリアとの国境近くの高台に位
置し、1000〜2000年前に建てられた
石造りの家々が長閑な景観を形作っていま
す。

イタリア人の画家であるジョヴァンニセガ
ンティーニやドイツ文学を代表する詩人のヘ
ルマンヘッセ、オーストリアの詩人であるライ
ナーマリア・リルケなどが愛したと言われ、
美しい山々と鮮やかな緑の牧草地の間に見
える石の屋根と煙突が印象的な「隠れ里」
です。

ソーリオへの拠点となるサンモリッツから
は、雄大なベルニナアルプスに囲まれたシル
ス湖の端にあるマローヤ峠からイタリアのキ
アヴェンナまで約1500メートルを下つて
いくブレガリア谷を走るポストバスを利用
できます。

ソーリオは歩いても10分ほどで回れる小
さな村で、現在はホテル・レストランになっ
ている「ブラッツィオオサリス」には17世紀当時
の貴重な装飾が残されており、村の歴史遺
産とも言える存在です。

スイスの多様な魅力をアピール

マローヤにアトリエを構えて晩年を過ご
した画家のセガンティーニは、マローヤに比べ
て温暖なソーリオで冬を過ごすようにな
り、たびたび、この美しい村を訪れたと言わ
れています。

スイス政府観光局の押尾雅代メディアマ
ネージャーは、「アルプスの国というイメージ
から、旅行会社には夏を中心に送客してい
ただいていますが、世界で初めての「冬のリ
ゾート」とも言われるサンモリッツを拠点
に、冬の素材としてソーリオをはじめとする
ブレガリア谷にも注目していただきたい」と
呼びかけています。

豊かな自然と素材な暮らしが息づいてい
るブレガリア谷は、石葺屋根の家並みと石
畳の美しい村々が点在する「秘境の郷」で
す。もともと独特のロマンシユ語が使われて
いた地域ですが、現在は8〜9割がイタリ
ア語を話すようになっています。

芸術家として有名なジャコモメッティ一族の
出身地としても知られ、夏のピークシーズ
を外してスイスの多様な魅力をアピールで
きるエリアとして、今後の商品開発が期待
されるところです。